

# 治療院繁盛・応援講座

北海道から九州まで、日本全国を駆け巡ったツアーはライブセミナーを中心に全国の治療家から大きな支持を獲得。



## オンライン ライブセミナー

ON  
USTREAM



メディックスセミナーレポート

2012年9月、メディックス主催で初めて札幌で開催した「東京式接骨院経営セミナー」。保険者との向き合い方や戦略的な多店化の考え方を扱った内容は、大きな反響を得た。このシリーズのセミナーは、その後名称を『治療院繁盛・応援講座』と改め、一層の充実を図り全国ツアーを開始した。この講座は内容もさることながら、USTREAMを利用したオンライン・ライブ配信が大きな特徴といえる。会場へ足を運ばなくてもMDXで講座が視聴できるとあって徐々にファンが増え、回を重ねることにアクセス数は右肩上がりが増加している。

メディックスは今年創業25周年を迎え、会員数はすでに10000会員を超えている。入会している治療院は、北海道から沖縄まで、最南端は宮古島へと広がっている。

業務拡大と並行する形で顕著に現れてきたのが、「東京に本社を置く我々が、いかに地方の会員様向けに情報を発信していくか」ということ、これが大きな課題となっていた。

そこでメディックスでは、こうした課題を克服するため、一昨年、CR部（カスタマーリレーション部）を立ち上げ、専任の担当者を配置しSkypeやUSTREAMなどのIT技術を活用し、地方との距離を縮めるための準備をおこなってきた。

我々は、レセコンを業界で初めていわゆるクラウドサービス化するなど、常にIT技術の最先端と光回線に代表される高速インターネットの普及など、インフラの発達に注目し、これをいかに会員サービスに活用するかを考えてきた。こうした中で数年前までは想像すらできなかったイベントのライブ配信が、今では放送局並みのクオリティを一般企業が手軽に配信できるまでになつてきた。配信機器の発達に加え、配信を受信する側、すなわち一般ユーザ側のインフラが光回線などの普及で大容量の情報を瞬時に受け取れるようにまで

発達したことが要因としてあげられる。情報発信の手段としてこれを活用しない手はない。一つの取り組みとして、始まったのが『治療院繁盛・応援講座』のオンライン・ライブ配信だ。この講座は会員だけでなく誰でも無料で視聴できる。こうした情報発信の手段は、今後のサービス展開の大きな鍵となり、他社との差別化につながるに違いない。

メディックスでは会員向けのサービスとして『会員専用合同勉強会』の定期的な開催を決めた。保険請求やスタッフ教育、税務など治療院運営に役立つコンテンツをセミナーではなく、座談会形式で会員同士のディスカッションを交えて進めようという試みだ。メディックス本社研修センター（東京都千代田区）を主な会場として行われるが、この勉強会の模様はすべてライブで配信され、メディックス会員限定で公開される。機材や回線に問題があり、第一回、第二回の開催では一部の映像や音声途切れるなどのトラブルに見舞われたが、ライブ配信専用光回線を敷設し、ハイエンドな配信機器の導入設置も完了し準備は万端だ。

これまで東京集中型と言われてきたイベントや情報を全国へ向けて発信し、いわゆる「情報距離」の格差を無くし、会員向けサービスの更なる向上と、業界全体の向上を目指していく。



【治療院繁盛・応援講座】福岡開催で熱く語るメディックス計算センター会長 坂上武弥

東京での開催をWEBで見ていたという会場参加者からは、「福岡開催があると聞いていたので楽しみにしていた。所属している接骨師会からの情報が乏しい中で、一般の治療院向けにここまでやってくれるのは本当にありがたい。メディックスに入会したらもっとケアしてもらえるのだろうか。」と冗談混じりに話した。

全国ツアーでは各会場参加、WEB参加合わせ、のべ約800名の参加をいただいた。各会場での開催の様子は順次録画を公開する。詳細情報はメディックス計算センターホームページ上で公開予定。